オオハンゴンソウ防除通信 65号

2018.8.8

発行：利尻島自然情報センター 利尻町沓形字富士見町 小杉和樹 〒097-0401 E-mail:kazuki@h2.dion.ne.jp

7月は二つの駆除会を実施しました！！

7月16日（月・祝）は、恒例となりました利尻山コマドリプロジェクトに協賛して、北麓野営場から甘露泉までの遊歩道脇に分布するコバノハイキンポウゲの駆除会でした。参加者5名で、ゴミ袋４個（約20kg）を駆除することが出来ました。

当日は、管理棟前と利尻山上部でのコマドリプロジェクトの普及啓発も行われ、作業する私たちに下山者から労いの声をたくさんかけていただきました。

次に7月29日（日）は、オタトマリ沼の遊歩道脇でブタナ等の一般的な種の駆除会を実施しました。

当日は、昆布漁も行われるほどの好天となり、いつもの参加者が昆布漁の手伝いで来ることが出来ないと言ったアクシデントもありましたが、5名でゴミ袋２個（約10kg）を駆除することが出来ました。

この日は、利尻空港にあるAMeDASが30.1℃を記録するという暑い日で、熱中症を懸念して、作業は１時間程で終了しました。

二つの駆除会に参加してくださった方々にお礼を申し上げます。

これまで、そして、これから

利尻島のサイクリングロードや北麓野営場からの登山道脇に見られるコバノハイキンポウゲは、今でこそ、その名前で呼ばれていますが、2000年に調査で訪れた外来植物に詳しい五十嵐博さんは、在来種のハイキンポウゲに似ているものの、葉がかなり小さいことから外来種起源の小型のハイキンポウゲと考えました。

その後、道内各地の調査と文献調査により、種としては同じであるもの、在来種のハイキンポウゲと区別して、葉が小さい特徴からコバノハイキンポウゲの新和名を提唱しました。詳しくは利尻町立博物館紀要「利尻研究31：コバノハイキンポウゲ，小型のハイキンポウゲの新和名」をご覧ください。

北麓野営場から甘露泉までの駆除は、上部から駆除し、下部へと向かっていますが、少しずつ成果が現れています。しかし、北麓野営場側は花期になると一面が黄色くなるほどの勢力で、もう少し駆除圧をかけたいところです。

利尻島のコバノハイキンポウゲは、緑化用の張り芝が起源と思われます。

2018年第5回駆除会

8月は、久しぶりに南浜湿原での駆除会になります。場所、日時等は以下の通りですので、お友達とお誘い合わせの上お越しください。

○日　時：8月25日（土）午前9時半から11時まで

○場　所：南浜湿原

○その他：小雨決行

	種富湿原	南浜湿原	オタトマリ沼	仙法志	沓形	鬼脇	鴛泊	計
2017年実績	5,330本	66,865本	381本	8本	4,814本	0本	0本	77,398本
2018年実績	5,936本	70,607本	14本	0本	0本	0本	0本	76,557本

2018年実績は、7月末までに報告のあった数の集計です。作業をされた方は場所、日時、駆除本数を毎月末までに報告して下さい。（この通信は環境省グリーンワーカー事業「平成30年度利尻島外来種除去等業務」を受託して発行しています。）